

## 泌尿器科用語集第5版発行にあたって

泌尿器科用語集第5版が8年ぶりに改訂され発行されることとなりました。昨今の泌尿器科医療における診断・治療技術の進歩は目まぐるしく、診断・治療において必要となる用語も日々変わってきて参りました。このたび、現在、診療において日々使用され必要とされる用語を見直すとともに新しい用語を追加し、第4版よりトータル用語数は約770項目増え4965項目となりました。また、今回は、Web版のみの発行となっておりますが、スマートフォンでも容易に見ることができ、より活用しやすくなっています。さらに、日本語、英語、略語が併記されており、検索機能もついています。用語集により泌尿器科における用語を統一し、共通用語を用いることは、日常診療のみならず教育・研究においても非常に重要です。是非、多くの先生方が本用語集を積極的に活用して頂き、正しい用語を用いた診療・研究・教育を行なって頂きたいと思っております。

最後になりましたが、本用語集の発行にあたりご尽力賜りました日本泌尿器科学会用語委員会委員長松山豪泰教授をはじめ委員の先生方に心から感謝申し上げます

平成31年3月

日本泌尿器科学会理事長  
藤澤 正人

## 泌尿器科用語集 第5版 改訂 序

このたび泌尿器科用語集 第5版改訂作業が行われた。前回改訂（2011年 委員長：馬場志郎先生）以降、実に8年ぶりの改訂となった。当初、小規模な簡易改訂の案もあったが、藤澤正人理事長のご指示もあり、前用語委員会委員長（舛森直哉先生）の仕事を引き継ぐ形で第4版（英和の見出し語として4,188語）の全面見直しをおこなった。

今回の改訂は、以下の4項目を基本方針とした。

1. 前回4版改定時の「基本的考え方」（見出し語の採用基準は、後期研修医を対象とする）を原則として遵守する。
2. 用語委員会委員長が、第4版用語集の見出し語を「修正なし」「要修正」（英語表記または和訳が適当でないとおもわれた用語）「削除」（現在では使われなくなった特殊な手術名、検査法などの用語）「保留」（遺伝学的優性、劣性など現在日本遺伝学会で取り扱いが検討中の用語および委員全員で協議すべき用語）の4カテゴリーに分類する。
3. 日本医学会医学用語辞典の和訳があれば、それを尊重し修正する。
4. 「要修正」「削除」「保留」用語は委員9名中8名以上の同意があれば、実行し、2名以上の反対があれば、修正削除なしとする（ただし尿路感染症、尿路結石症、男性不妊症、排尿障害などの専門分野の委員の意見は、できるだけ尊重）。

次に作成した暫定版を日本排尿機能学会、日本泌尿器内視鏡学会、日本小児泌尿器科学会、日本尿路結石症学会、日本老年泌尿器科学会の5学会に送付し、各学会用語委員のご意見をいただき、修正したものをWeb上に仮アップロードし、さらにパブリックコメントのご意見を反映させたものを最終版（最終見出し語：4965語）とした。

第5版改訂版は、書籍出版は行わず（2018年7月の日本泌尿器科学会理事会決定）日本泌尿器科学会ホームページ上のWeb版用語辞典のみとしたが、アルファベットまたはひらがなによる検索が可能のため学会会場等での専門用語（英和、和英、略語）の検索が可能であり、利便性が向上したのではないかと思われる。

最後に膨大な改訂作業を遂行していただいた用語委員会メンバー（武中 篤、安井孝周、永井 敦、舛森 直哉、賀本 敏行、出口 隆、土谷 順彦 各先生）、事務局の白石晃司先生（山口大学）ならびにWeb版用語辞典を作成いただいた杏林舎 河原由貴さまに甚大なる謝意を表したい。

日本泌尿器科学会 用語委員会  
委員長 松山豪泰

## 日本泌尿器科学会用語委員会（改訂第5版）

松山 豪泰	（委員長 山口大学）
武中 篤	（鳥取大学）
安井 孝周	（名古屋市立大学）
永井 敦	（川崎医科大学）
舛森 直哉	（札幌医科大学）
賀本 敏行	（宮崎大学）
出口 隆	（岐阜大学）
土谷 順彦	（山形大学）